

ナスカ・マルチ通信データ変換

■ナスカ・マルチ通信へ移行する前に

ナスカ通信、ナスカマルチ DNC のデータを移行するには、ナスカ・マルチ通信がパソコンにインストールされている事が前提となります。

今一度、ナスカ・マルチ通信がインストールされているかご確認下さい。

1. ナスカ V1(Nasuka)をお持ちのお客様

- 1) ナスカ V1 からナスカ・マルチ通信へデータを移行する前に……………P2
- 2) 変換ソフトの起動……………P3
- 3) ナスカ V1 のナスカ通信を変換する場合……………P3～P4
- 4) ナスカ V1 のナスカマルチ DNC を変換する場合……………P5～P6

2. ナスカ V2(NasukaV2)をお持ちのお客様

- 1) ナスカ V2 からナスカ・マルチ通信へデータを移行する前に……………P7
- 2) 変換ソフトの起動……………P8
- 3) ナスカ V2 のナスカ通信を変換する場合……………P8～P9
- 4) ナスカ V2 のナスカマルチ DNC を変換する場合……………P10～P11

3. 変換されたデータの格納先、呼出方法

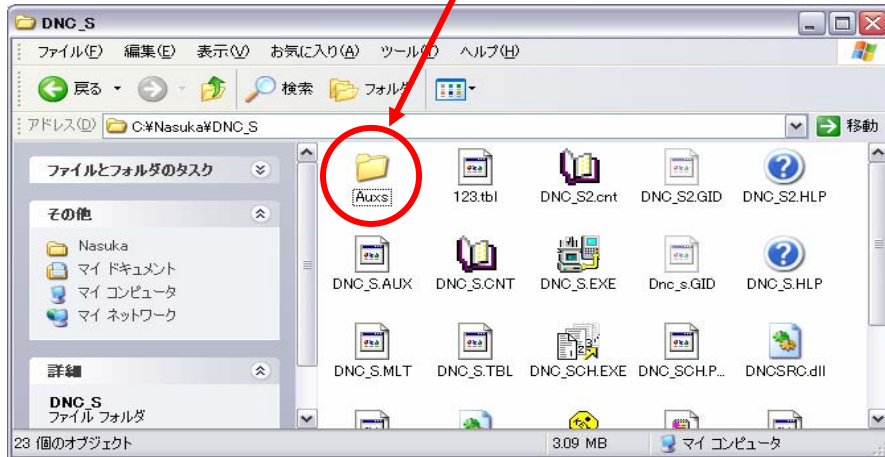
- 1) ナスカ通信……………P12～P13
- 2) ナスカマルチ DNC……………P14～P16
- 3) 変換されたデータの呼出方法……………P16

1. ナスカ V1(Nasuka)をお持ちのお客様

1) ナスカ V1 からナスカ・マルチ通信へデータを移行する前に

① ナスカ通信を変換する方へ

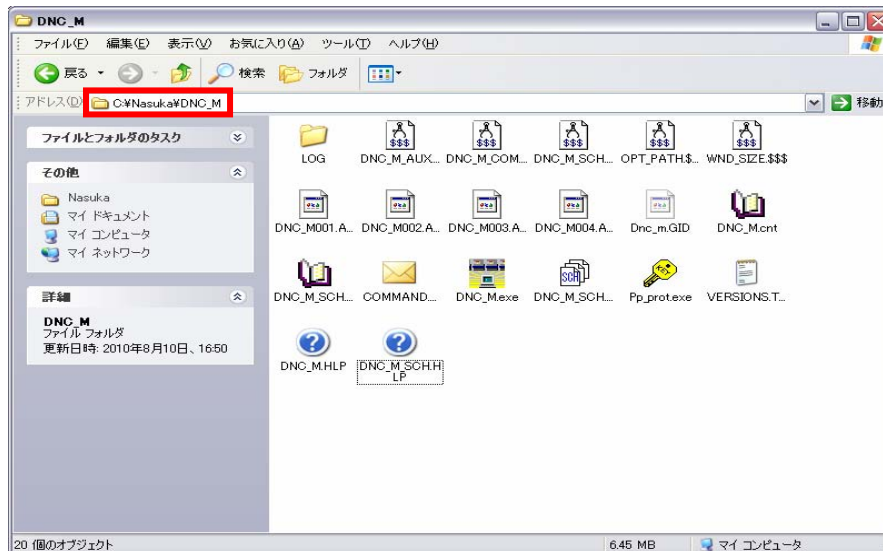
ナスカ通信をデータ変換する際は、下記のフォルダ(C:\%Nasuka%\DNC_S\Auxs)の中にあるファイルを一括で変換します。



※変換したい通信設定データが Auxs フォルダに入っていない場合は、ファイルをこのフォルダ内へ移動して下さい。ファイルの拡張子は.aux になります。

② ナスカマルチ DNC を変換する方へ

ナスカマルチ DNC をデータ変換する際は、ナスカマルチ DNC の実行ファイル(ナスカマルチ DNC を起動するファイル)が置いてあるフォルダ(C:\%Nasuka%\DNC_M)のファイルを一括で変換します。



※変換したい通信設定データが DNC_M フォルダに入っていない場合は、ファイルをこのフォルダ内へ移動して下さい。ファイルの拡張子は.AUX になります。

2) 変換ソフトの起動

① 当社ホームページからダウンロードした場合

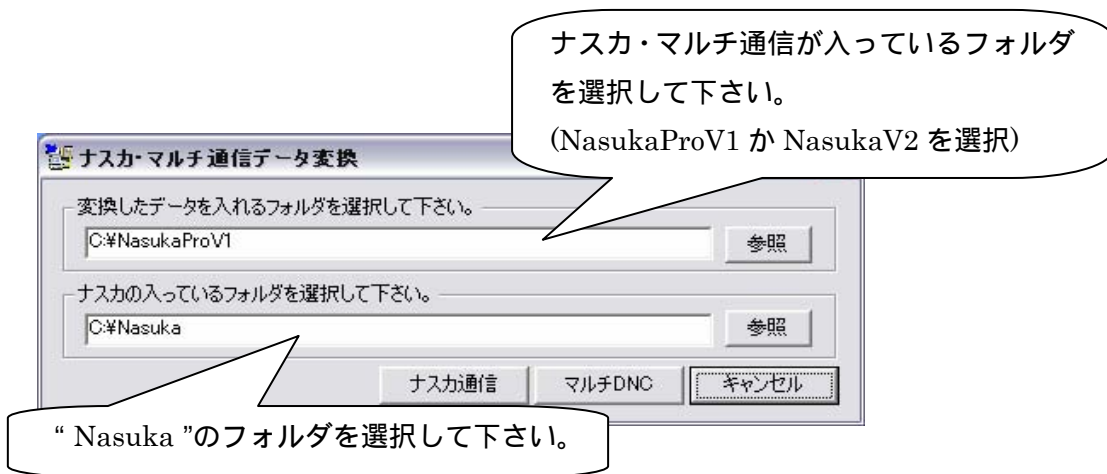
ファイルを保存した場所から「DncConversion.exe」を起動して下さい。

② CD からインストールした場合 (※Rel.1.15 以降)

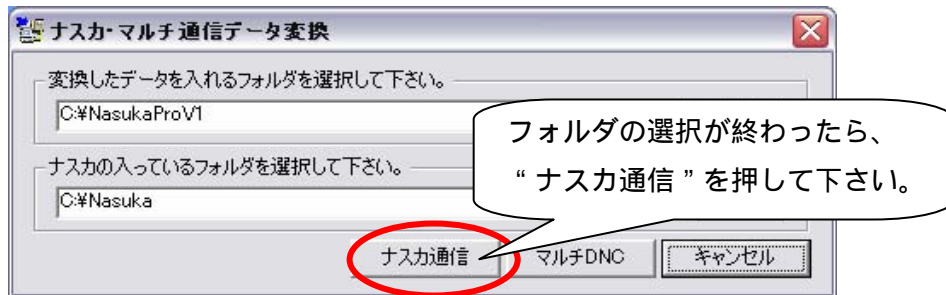
「C:\NasukaProV1\Tools\DncConversion.exe」を起動して下さい。

3) ナスカ V1 のナスカ通信を変換する場合

① 変換したデータを入れるインストールフォルダの選択

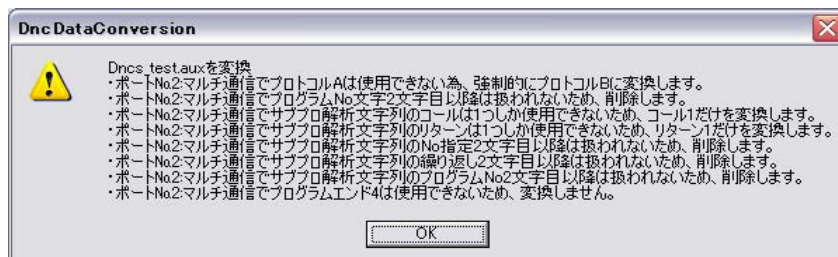


② ナスカ通信の変換

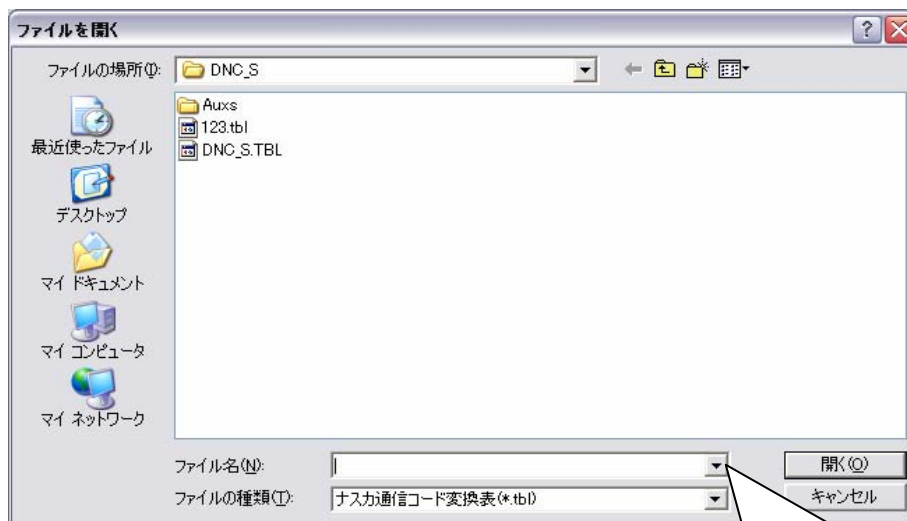


Auxs フォルダにある aux ファイルを変換します。

変換できなかった項目は下記のようなエラーメッセージが表示されます。



③ナスカ通信コード変換表の読み込み



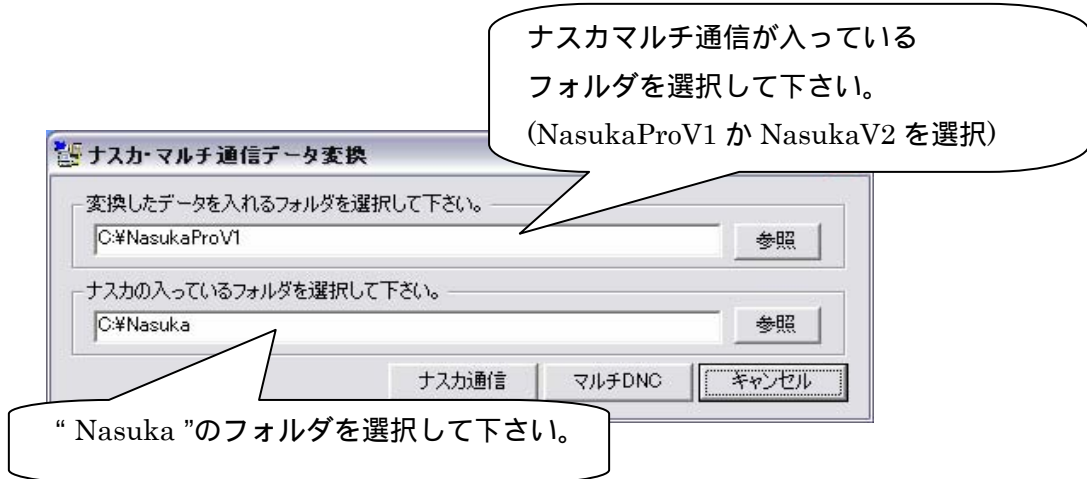
ナスカ通信コード変換表がある場合は、TBL ファイルを選択して開いて下さい。ファイルが無い場合はキャンセルを押して下さい。その際は標準のコード変換表を使用します。

変換が完了すると以下のメッセージが表示され、データ変換が完了します。
[OK]を押して、変換ソフトを終了して下さい。

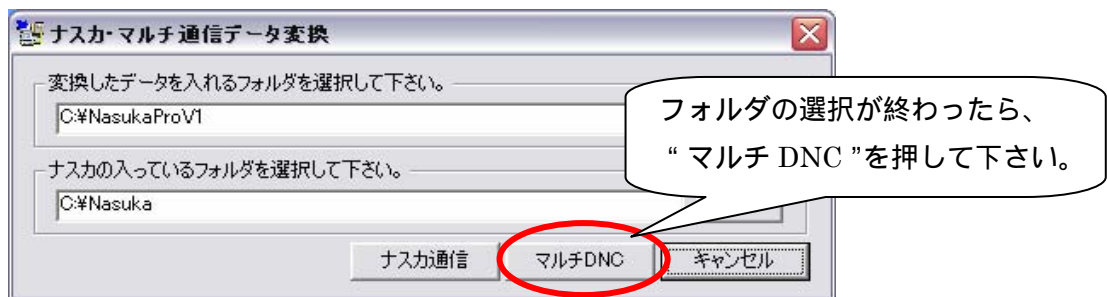


4) ナスカ V1 のナスカマルチ DNC を変換する場合

① 変換したデータを入れるインストールフォルダの選択

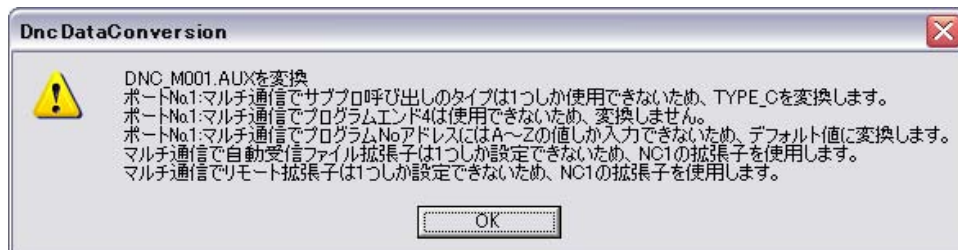


② ナスカマルチ DNC の変換



DNC_M フォルダにある AUX ファイルを変換します。

変換できなかった項目は下記のようなエラーメッセージが表示されます。



変換が完了すると以下のメッセージが表示され、データ変換が完了します。
[OK]を押して、変換ソフトを終了して下さい。

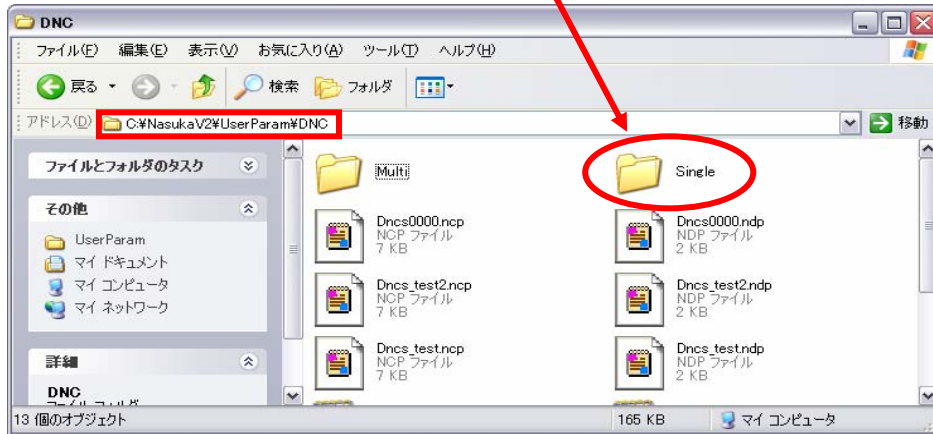


2. ナスカ V2(NasukaV2)をお持ちのお客様

1) ナスカ V2 からナスカ・マルチ通信へデータを移行する前に

① ナスカ通信を変換する方へ

ナスカ通信をデータ変換する際は、下記のフォルダ(C:\NasukaV2\UserParam\DNC\Single)の中にあるファイルを一括で変換します。



※変換したい通信設定データが Single フォルダに入っていない場合は、ファイルをこのフォルダ内へ移動して下さい。ファイルの拡張子は.aux になります。

② ナスカマルチ DNC を変換する方へ

ナスカマルチ DNC をデータ変換する際は、下記のフォルダ(C:\NasukaV2\UserParam\DNC\Multi)の中にあるファイルを一括で変換します。



※変換したい通信設定データが Multi フォルダに入っていない場合は、ファイルをこのフォルダ内へ移動して下さい。ファイルの拡張子は.AUX になります。

2) 変換ソフトの起動

① 当社ホームページからダウンロードした場合

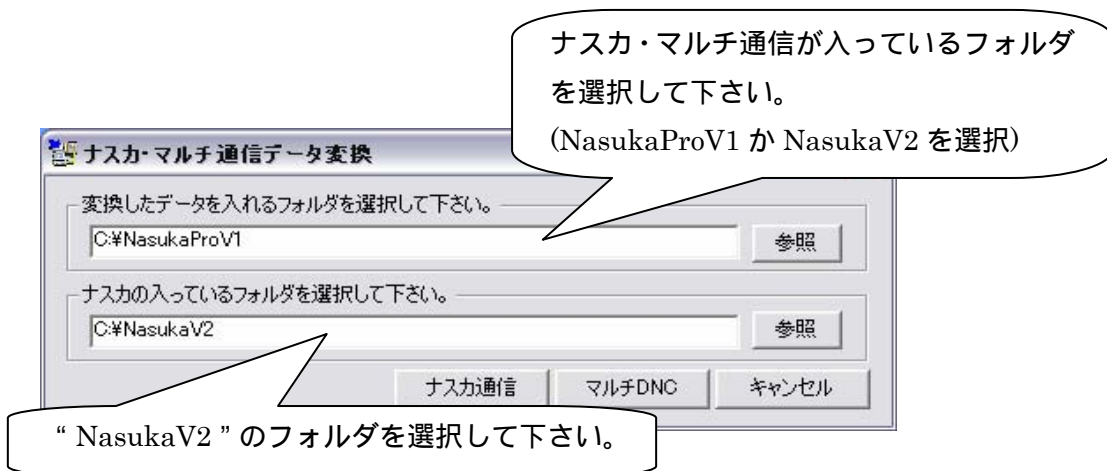
ファイルを保存した場所から「DncConversion.exe」を起動して下さい。

② CD からインストールした場合 (※Rel.1.15 以降)

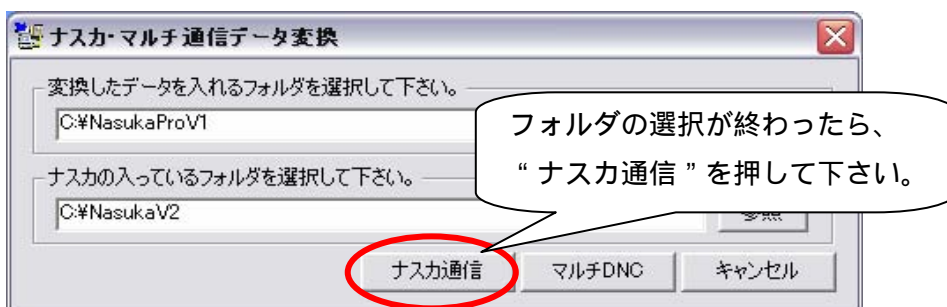
「C:\¥NasukaProV1¥Tools¥DncConversion.exe」を起動して下さい。

3) ナスカ V2 のナスカ通信を変換する場合

① 変換したデータを入れるインストールフォルダの選択

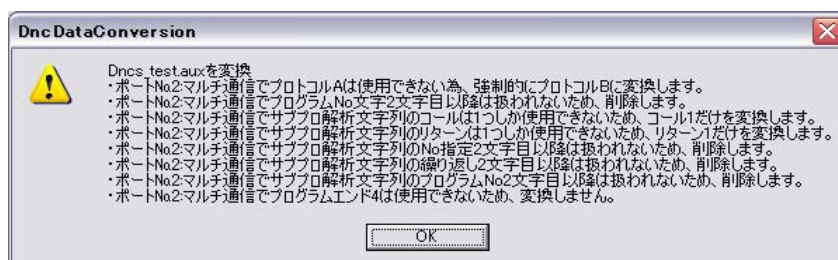


② ナスカ通信の変換

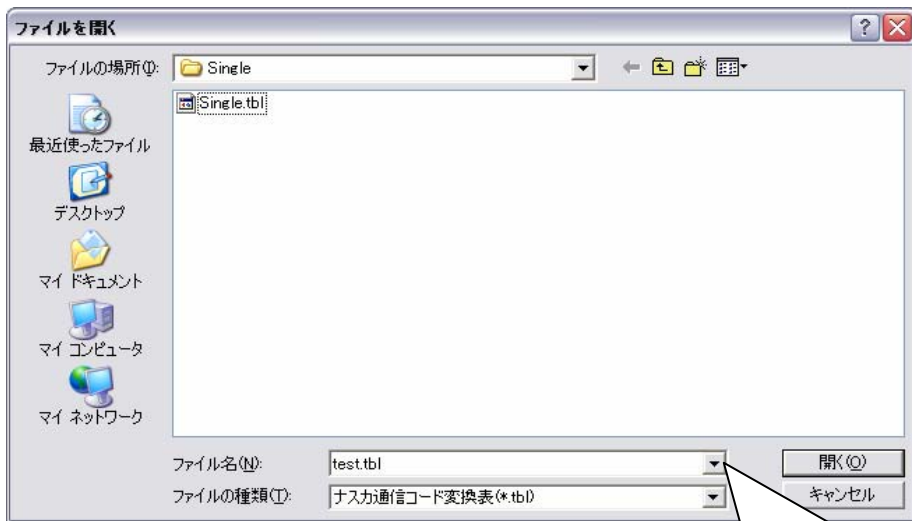


Single フォルダにある aux ファイルを変換します。

変換できなかった項目は下記のようなエラーメッセージが表示されます。



③ナスカ通信コード変換表の読み込み



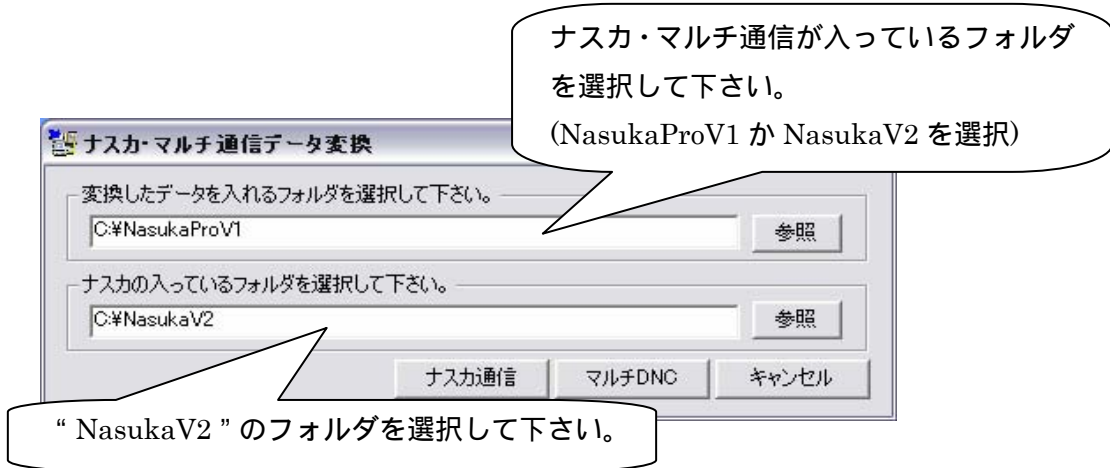
ナスカ通信コード変換表がある場合は、TBL ファイルを選択して開いて下さい。ファイルが無い場合はキャンセルを押して下さい。
標準のコード変換表を使用します。

変換が完了すると以下のメッセージが表示され、データ変換が完了します。
[OK]を押して、変換ソフトを終了して下さい。



4) ナスカ V2 のナスカマルチ DNC を変換する場合

① 変換したデータを入れるインストールフォルダの選択

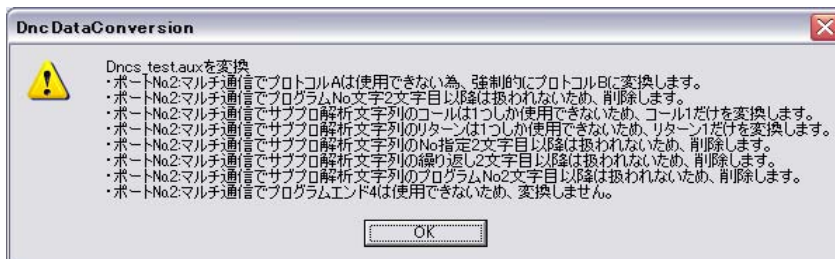


② ナスカマルチ DNC の変換



Multi フォルダにある AUX ファイルを変換します。

変換できなかった項目は下記のようなエラーメッセージが表示されます。



変換が完了すると以下のメッセージが表示され、データ変換が完了します。
[OK]を押して、変換ソフトを終了して下さい。



3.変換されたデータの格納先、呼出方法

1) ナスカ通信のデータ格納先

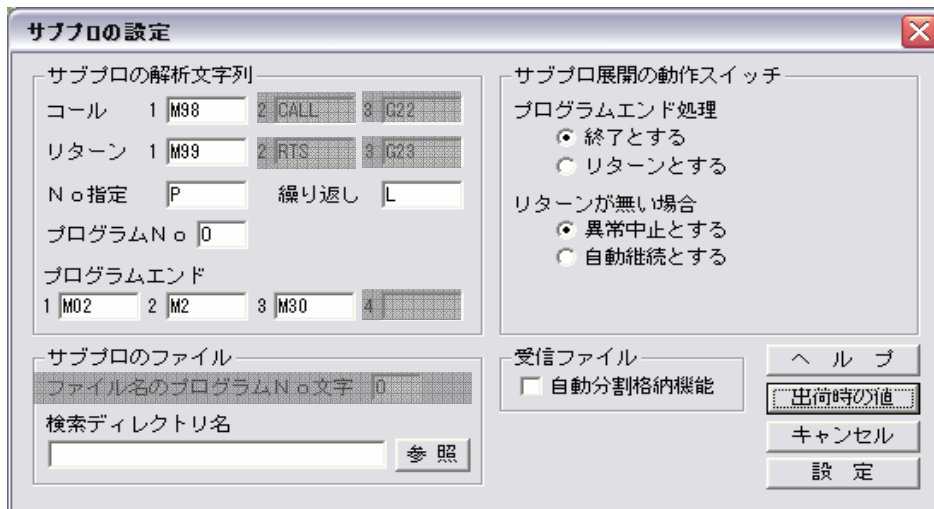


上記項目は、下記のナスカ・マルチ通信の設定項目に保存されます。

- (1)変換後のファイル名称 1 (2)条件名称 (3)通信ポート (4)通信コード
- (5)ボーレート (6)ストップビット (7)DC制御 2 (8)区切りコード
- (9)%展開 (10)コメント削除 (11)NULL削除 (12)ブロックスキップ削除
- (13)サブプログラム展開 (14)TVチェック (15)タイムアウト時間
- (16)単位送信文字数 (17)ヘッダ文字列 (18)送信開始文字列 (19)フッタ文字列
- (20)遅延時間 (21)DC2 / DC4処理 (22)%で送信終了 (23)DC3コード(ISO)
- (24)DR信号

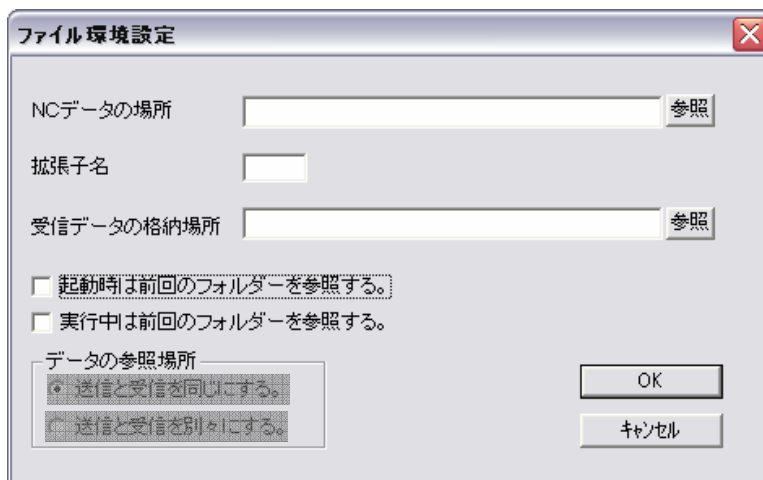
1 データ変換した際、変換先のファイル名になります。

2 プロトコルAはナスカマルチ通信で使用できないため、DCコードで選択しても変換されません。



上記項目は、下記のナスカ・マルチ通信の設定項目に保存されます。

- (1) 呼出コード (2) 復帰コード (3) 呼出プログラム番号アドレス
- (4) 繰り返し回数アドレス
- (5) サブプログラム番号アドレス & 自動分割プログラム番号アドレス
- (6) 終了コード 1 (7) 終了コード 2 (8) 終了コード 3 (9) サブプログラムファイル位置
- (10) 終了コード処理 (11) 復帰コード処理 (12) 自動分割処理



上記項目は、下記のナスカ・マルチ通信の設定項目に保存されます。

- (1) 送信ファイル位置 (2) 送信ファイル拡張子 & 受信ファイル拡張子
- (3) 受信ファイル位置
- (4) 常に前回のフォルダを参照する (どちらかに☑が入っていれば OK)

変換したデータファイルは下記のフォルダに保存されます。

[ナスカ・プロの場合] C:\NasukaProV1\NasukaV2\UserParam\DNC

[ナスカ V2 の場合] C:\NasukaV2\UserParam\DNC


2) ナスカマルチ DNC のデータ格納先



上記項目は、下記のナスカ・マルチ通信の設定項目に保存されます。

- (1) ボーレート (2) 通信コード (3) DCコード (4) ストップビット (5) 区切りコード
- (6) TVチェック (7) タイムアウト時間 (8) 遅延時間 (9) %展開 (10) コメント削除
- (11) DC2 / DC4処理 (12) NULL削除 (13) ブロックスキップ削除
- (14) サブプログラム展開 (15) 自動分割処理 (16) 自動受信の切り替え
- (17) ヘッダ文字列 (18) 送信開始文字列 (19) フッタ文字列 (20) DC3コード(ISO)
- (21) 変換後のファイル名称 1 (22) 送信ファイル位置

1 データ変換した際、変換先のファイル名になります。



通信条件設定 [NC1号機: COM 2]

通信条件 サブプロ | コード変換 | リモートコマンド/自動受信

サブプロ呼び出し

タイプ名	コール	No	繰返し	リターン	PrgNo	サブプロフォルダ
<input checked="" type="radio"/> TYPE_A	M98	P	L	M99	O	[参照]
<input type="radio"/> TYPE_B	G22	L	P	G23	L	[追加] [削除]
<input type="radio"/> TYPE_C	CALL	O	O	RTS	O	<input type="checkbox"/> ファナックOM形式
<input type="radio"/> TYPE_D						

プログラムエンド

1	M30	2	M02
3	M2	4	

動作スイッチ

プログラムエンド処理 終了動作 リターン動作

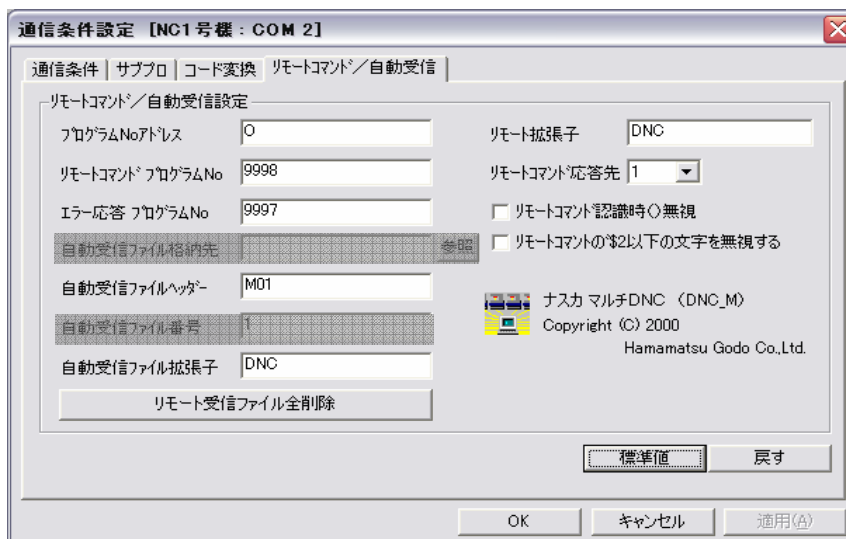
リターンが無い場合 異常中止 自動継続

[標準値] [戻す]

OK キャンセル 適用(A)

上記項目は、下記のナスカ・マルチ通信の設定項目に保存されます。

- (1)呼出コード (2)呼出プログラム番号アドレス (3)繰返し回数アドレス
- (4)復帰コード (5)サブプログラム番号アドレス (6)サブプログラムファイル位置
- (7) F A N U C - O M形式 (8)終了コード1 (9)終了コード2 (10)終了コード3
- (11)終了コード処理 (12)復帰コード処理



通信条件設定 [NC1号機: COM 2]

通信条件 サブプロ | コード変換 | リモートコマンド/自動受信

リモートコマンド/自動受信設定

プログラムNoアドレス: 0

リモートコマンドプログラムNo: 9998

エラー応答プログラムNo: 9997

自動受信ファイル格納先: [参照]

自動受信ファイルヘッダー: M01

自動受信ファイル番号: 1

自動受信ファイル拡張子: DNC

リモート拡張子: DNC

リモートコマンド応答先: 1

リモートコマンド認識時〇無視

リモートコマンドの\$2以下の文字を無視する

ナスカ マルチDNC (DNC_M)

Copyright (C) 2000 Hamamatsu Godo Co.,Ltd.

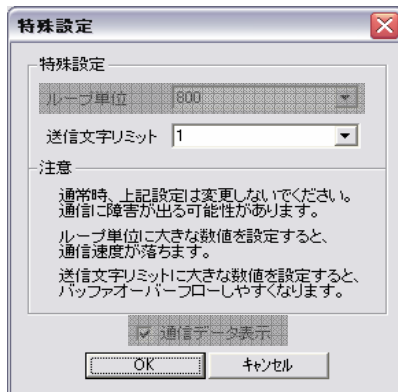
リモート受信ファイル全削除

[標準値] [戻す]

OK キャンセル 適用(A)

上記項目は、下記のナスカ・マルチ通信の設定項目に保存されます。

- (1)プログラム番号アドレス (2)呼出プログラム番号 (3)応答プログラム番号
- (4)自動受信ファイル名 (5)自動受信ファイル拡張子
- (6)リモートコマンド指定プログラム拡張子 (7)応答先ポート番号 (8)()の処理



上記項目は、下記のナスカ・マルチ通信の設定項目に保存されます。

(1) 単位送信文字数

変換したデータファイルは下記のフォルダに保存されます。

[ナスカ・プロの場合] C:\%NasukaProV1%\%NasukaV2%\UserParam\DNC

[ナスカ V2 の場合] C:\%NasukaV2%\UserParam\DNC

3) 変換されたデータの呼出方法

①COM 管理

[通信] > [COM 管理] > [設定] > [通信条件] > [ファイル入力] > 「設定ファイル名.ncp」を選択して下さい。

設定

[設定] > [データ処理] > [ファイル入力] > 「設定ファイル名.ndp」を選択して下さい。